

函館 ハリストス正教会

2020年3月 第73号



発行者：函館ハリストス正教会 長司祭列父ト児玉慎一

〒040-0054 函館市元町3-13

TEL(0138)23-7387/FAX (0138)23-7939

URL <http://orthodox-hakodate.jp>

Email frclement205@gmail.com

編集者：会報編集委員会 郵便振替 02660-5-1721

齋と祈り ～私たちを助け導くもの～

復活祭前の大齋に際して心を改めようと誰しも思うことでしょう。それぞれの歩みが始まろうとしている今、「齋と祈り」—これまで何度も聞いたこの教えを振り返ってみましょう。

「救世主よ、痛悔の涙にて我を潔め、独仁慈なる主として、齋と祈祷とを以て我を照らし給え。」（赦罪の晩課讃頌）

聖大ワシリイは「真の齋は悪を遠ざけ、舌を禁じ、怒りを止め、嗜慾と悪言と詐欺と背誓とを除くにあり」と教えます。私たちは自らの心身の欲望を支配するべく齋し、祈りの日々を過ごします。祈りはこの齋という土台なしに無力であり、齋も祈りを伴わなければ実を結びません。正しい齋が行われて肉体の欲から解放され、祈りを通して心の欲と戦うことができます。「禁食する者は軽く活発にして翼を生じる。禁食と共に祈祷する者は風よりも軽き両翼を有する」（聖金口イオアン）。祈りと齋によってあたかも翼を得たかのごとく心身が軽くなり、一層悪欲から離れ、傲慢な心を静めることが出来るというのです。



聖イグナティは食べ物の質についても教えました。最も自然な食べ物として神が人類の祖に与えられた「種を持つ草と種を持つ実をつける木」（創世記1:29）を勧めます。その後ノアに「動く命あるものすべて」が祝福されたとは言え、許されたおよその物が益あり徳を立てるものとは限らず、特に肉食を避けるのは肉が穢れているからではなく、人間全体を重くし、属神の成長を妨げるからだとも教えました。

先の赦罪の晩課讃頌は「皆熱切に之に進みて、ハリストス神の至尊なる苦及び聖なるパスハを神を以て喜びて見るを得んためなり」と続きます。齋と祈りは私たちを正しき所に助け導くために定められたものです。その目的は正しい歩みの中で主の賜物に与ることです。ことに大齋は主の復活の喜びを分かち合うべく人のために配慮されたものです。大齋は多くの制限を伴う暗く憂鬱な時ではなく、この目的のために私達の霊体が清められ、多くの徳や恩恵に与る喜びにあふれる時です。是非これを覚えて正しい齋と祈りの指針と致しましょう。（K）

臨時信徒総会の開催 2/23



2月23日(日)午後、信徒会館において聖堂保存修理事業を中心議題とする臨時信徒総会が開催されました。

今年1月に函館市に対し来年度の国庫補助事業の補助採択の内示があり、保存修理事業が可能となったことを受けて、信徒に事業内容を説明し計画の是非を問う目的で行われました。

児玉神父から詳細な事業内容の説明があり、また総額の5%という負担金の資金計画案が示されました。今回の事業は将来の国庫補助による聖堂修復を維持していくためにも大事であること、美しく聖堂を保つという教会の大事な努めと共に国の重要文化財として歴史的建造物保存という責務を果たす機会であることが強調されました。

様々な質問、意見が出て今後具体化すべき点も指摘されましたが、提案された議題は全員一致で了承されました。これから3月中に教区、教団へ事業計画の祝福を求め、4月には正式に国及び市への補助申請を行う予定です。

丸2年にわたる工事は何かと不便も伴い、資金的な協力も皆様をお願いしなければなりません、皆で協力してこの事業が成功するよう努めましょう。

■聖堂保存修理事業の概要

[工期]

- ・令和2年度(2020年)12月末から工事に着手
- ・令和4年度(2022年)12月中旬に竣工引渡し

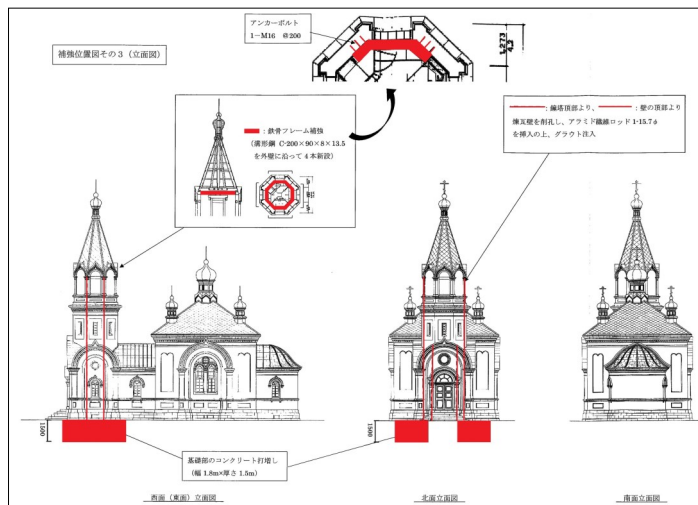
[工費及び教会負担金]

- ・総事業費 455,000,000円
- ・負担金及び補助金内訳

国庫補助金	364,000,000円	(補助率80%)
北海道	45,500,000円	(補助率10%)
函館市	22,750,000円	(補助率5%)
教会	22,750,000円	(負担率5%)

[資金計画]

- ・修繕引当特定預金及び一般会計預金
- ・聖堂保存修理特別献金の募集
- ・工事期間中の一般訪問者への献金呼びかけ



[主な工事内容]

- ・鐘楼部分の耐震工
図の赤で示される補強が中心
- ・屋根工事
銅板葺き替えの実施
- ・漆喰塗り直し
外壁の漆喰の全面補修
- ・イコノスタスとイコン修復
木部とイコンの洗浄、補修
- ・床面のゴザの新調
- ・その他
建具、電気設備、火災報知器の更新と改善等

北海道ブロック聖歌誦経者研修会 札幌 1/24-26



1月24日(金)から26日(日)まで札幌正教会を会場に北海道各地の教会から参加者を集めて標記研修会と「信徒学びの会」が行われました。函館からは神父とマリヤ大谷姉が参加しました。

今年は講師にエカテリナ児玉繁子姉とエレナ笠原茂子姉があたり、座学よりも実技指導を中心にしていただきました。24日午後から研修のオリエンテーションが始まり、早速二人の講師による実技指導が行われました。初日は復活祭期の「神の使い」、晩祷聖歌と指揮法が取り上げられ何度も練習が重ねられました。



▲エカテリナ児玉姉



▲エレナ笠原姉



▲クリメント児玉神父



▲信徒会館での実技



▲聖堂での奉事における実践

25日は初めに児玉神父から「信仰—私と教会とのつながり」というテーマで講話がありました。その後、実技として埋葬式、聖体礼儀聖歌、また誦経者とのコンビネーションの練習を行いました。晩祷では担当を決めて実践に臨みました。翌26日も主日聖体礼儀、大聖水式が行われる中、参加者が分担して聖歌指揮に立って研修しました。祈祷後は信徒学びの会が行われ、エフREM後藤神父から「イイススの祈り」をテーマに講話がありました。

反省会では様々な感想や意見が述べられました。継続的な研修の成果が出ているという評価がある一方、研修会を通して行われた学びや修正を各教会でもっと積極的に反映させていくこと、互いの交わりを大切にすること、聖歌のテンポや質などにもっと配慮すべきことなども話し合われました。



▲エフREM後藤神父の講話



▲「信徒学びの会」に集まった研修会参加者と札幌の信徒

上磯正教会だより

2月9日(日)の税吏とファリセイの主日には上磯正教会で聖体礼儀に引き続いて大聖水式が行われました。また、祈祷後に婦人会総会が開かれました。

婦人会長のリュボフ坂下孝子姉を中心に活動している婦人は、主に食事当番や大祭の諸準備などの奉仕をしています。農業従事者が多いことから農繁期の当番確保に苦労も多いようですが、奉仕ばかりではなく会員相互の交流も大事なことで教会の外に出かけて親睦や研修の機会を是非今年は持ちましようとして神父から提案されました。その後会計報告などが行われて総会は終了し、場所を教会近くの「しんわの湯」に移して昼食会が行われ、会員相互の懇親を深めました。

上磯でも信徒名簿の整理が進められ、神父は家庭訪問を継続しています。信徒の皆さんの動向をきちんと把握し、教会への意見要望を聞くこともその大きな目的です。何かありましたら、いつでも遠慮せずに神父にご連絡下さい。



▲聖体礼儀に引き続き行われた大聖水式



▲婦人会総会の様子

大斎スケジュール

3月1日(日)の赦罪の晩課から大斎が始まります。誦経、聖歌等の現状を鑑みながら今年は下記のように行います。是非平日の祈祷にもご参拝下さい。

■3月1日(日) 主日晚課(赦罪の晩課) 主日聖体礼儀に引き続いて行います。

■大斎初週 3月2日(月) ～ 6日(金)

10:00～ 時課・晩課 ※水・金は続けて先備聖体礼儀

16:00～ 晩堂大課(アンドレイのカノン)

※月～木まで

■大斎第二週以降 3月10日(火) ～ 4月10日(金)

毎週火・木 16:00～ 晩堂大課

毎週水・金 10:00～ 時課・晩課・先備聖体礼儀

■土日の主日奉事はこれまで通りです。





合同洗礼のご案内

聖枝祭の日、合同洗礼が行われます。この洗礼は特に正教徒の家庭で未だ洗礼を受けていない方のために行われるものです。ご家族の中でまだ受洗されていない方は、是非この機会に受けましょう。お子さん、お孫さんにもご案内下さい。

詳細はいつでも神父にご相談下さい。

■受洗日時: 4月12日(日) 午前8時15分～
■申 込: 神父に直接お申し出ください。

新刊本のご案内

—聖イグナティ・ブリアンチャニノフ著作集—

東日本主教教区宗務局ではこの度、宣教ブックレットとして十九世紀の三大師父の一人、聖イグナティ・ブリアンチャニノフの著作集の中から厳選したものを翻訳し一冊にした本を刊行しました。

聖イグナティ・ブリアンチャニノフは敬神家、多数の書を著した作家、高德の修道士、信仰生活の教師とされ1988年に成聖者として列聖されました。彼の著作集は「聖師父の教えの本質を深く掘り下げ、聖師父の精神を受け継いでおり、現代の信徒に読み易く、分かり易いもの」とロシア正教会の公会決議文に入っています。正教会では聖師父の書いた著作を救いに与る上で大切なものとして読まれてきました。難しいことを分かり易く、分かり易いことを深く書かれた本書は聖師父の言葉から聖書の理解へと進み、信徒の信仰生活における霊的な糧となるに違いありません。是非皆様もご一読下さい。



訳 者: アレクセイ・ポタポフ
マトフェイ 土田定克

体 裁: 簡易製本(ペーパーバック)
A5版 全333頁

頒布献金 一冊1300円

[申し込み先] 聖堂の頒布品コーナーで取り扱っています。

執事会報告

日時 令和2年2月2日(日) 午後1時～3時
場所 信徒会館執事会室

項 目	内 容
報告事項	<ul style="list-style-type: none"> ・1/24(金)-26(日) 北海道ブロック聖歌研修会及び「学びの会」(札幌) ※函館からは神父と大谷姉が参加。新しい講師を迎え実技中心の研修だった。今後の参加者増を働きかける。次回開催については拡大宣教会議で決定する予定。 ・1/28(火)全国諸規則検討委員会(東京)
予定	<ul style="list-style-type: none"> ・2/5(水) 文建協(電気、自火報、被雷設備の現地調査) ・2/11(火) 聖歌隊会合 ・2/23(日) 臨時信徒総会(聖堂保存修理事業について) ・3/1(日) 乾酪の主日、赦罪の晩課(大斎初週の始まり) ・4/12(日) 聖枝祭/合同洗礼 ※信徒家庭内における未洗礼者の受洗を促す案内をする。 ・4/19(日) 復活大祭 ※主日午前の奉事は例年通り。参拝の呼びかけを行い祝賀会は盛大に。 ・大斎祈祷について ※基本的に晩堂大課、時課、晩課、先備は火～金まで実施。大斎初週、受難週の予定を今後考える。
協議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・臨時信徒総会について(総会次第、役員、資料他) ※総会次第と役員は昨年の総会に準じる。資料については経緯、計画案、資金計画を説明。資金計画についてはさらに詳細な資料を作成する。 ・聖堂公開奉仕者謝金、交通費について ※謝金規定を見直した。交通費は実費請求してもらう。 ・電話回線変更の提案 ※INS通信の将来的な廃止に伴い、光回線に変更する。ファックス回線をコピー機に接続。その他、wifi環境などを改良する。使用頻度の少ない信徒会館の回線の今後を検討。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・来月の日程 3/1(日) 聖名モレーベン、赦罪の晩課 3/8(日) 代式祈祷 上磯正教会巡回 3/15(日) 臨時信徒総会

婦人会より

お当番さん、宜しくお願い致します!

◎3月のお当番… ソフィヤ村井幸枝姉、エカテリナ茂木由枝姉
イリナ 鈴木恵美子姉
(昼食準備は3月1日、15日)



函館正教会献金報告

2020/1/23～2020/2/23分

※敬称略

日付	種 類	氏 名	金 額	日付	種 類	氏 名	金 額
1/1	感謝献金	****	****	1/31	会報献金	****	****
1/1	会報献金	****	****	1/31	会報献金	****	****
1/1	感謝献金	****	****	2/7	会報献金	****	****
1/31	感謝献金	****	****	2/18	感謝献金	****	****
1/31	会報献金	****	****	2/23	感謝献金	****	****

【聖名祭献金】

【墓地献金】

【降誕祭献金】



3月の聖名祭

聖名日が3月の方々への聖名祭モレーベンを3月1日(日)に行ないます。

聖名日	聖 名	氏 名
3/17	イライダ	入間川稚菜
22	キリール	森 征一
26	ハリスティナ	村井由紀子

聖体礼儀に引き続き行ないますので、該当する方は是非ご参拝下さい。

ークリーチと紅卵のご案内ー

今年も復活祭のクリーチと紅卵を頒布します。希望者は**4月5日(日)まで**に担当者にお申込み下さい。受け渡しは復活祭当日4月19日(日)8:45～9:15に信徒会館で行います。

■紅卵 1パック(5個入り) 300円

■クリーチ

大2,700円 中1,900円 小1,500円



2月の教会日誌

2月は来訪者も少なく、穏やかな日が続きました。ユジノサハリンスク市の交流団訪問は新型コロナウイルスの流行で中止となりました。

- 2/5(水) 文化財建造物保存技術協会の担当者ら聖堂の電気関連施設を調査。
- 2/11(火) 聖歌隊昼食会(唐草館)
- 2/12(木) トヨタ・レックス会員誌取材。NTTと電話契約更新を協議。
- 2/16-17 仙台訪問。
- 2/20(木) ケーブルTV業者とインターネット契約と電話サービスを協議。
- 2/27(木) 聖堂屋根材について業者打合せ。

3月の奉事・行事予定

2/29日(土)	函館	17:00	主日徹夜祷 第4調 福音経：ルカ 112端 24:1-12
1日(日)	函館	10:00	乾酪週間（断酪）の主日聖体礼儀 誦経：下田兄 使徒経：ロマ112端 13:11-144 福音経：マトフェイ17端 6:14-21 ●聖名日モレーベン 主日晚課（赦罪の晩課）
2日(月)	函館10時／16時		時課・晩課 / 晩堂大課
3日(火)	函館10時／16時		時課・晩課 / 晩堂大課
4日(水)	函館10時／16時		時課・晩課・先備聖体礼儀 / 晩堂大課
5日(木)	函館10時／16時		時課・晩課 / 晩堂大課
6日(金)	函館10時／16時		時課・晩課・先備聖体礼儀 / 晩堂大課
7日(土)	上磯	19:00	主日晚課 第5調 ★上磯正教会春の総パニヒダ
8日(日)	上磯	10:00	正教勝利の主日聖体礼儀 誦経：坂下兄 使徒経：エウレイ329端 11:24-26,32-12:2 福音経：イオアン5端 1:43-51
	函館	10:00	主日代式祈祷 代祷：下田兄
10日(火)	函館	16:00	晩堂大課
11日(水)	函館	10:00	時課・晩課・先備聖体礼儀
12日(木)	函館	16:00	晩堂大課
13日(金)	函館	10:00	時課・晩課・先備聖体礼儀
14日(土)	函館	17:00	主日徹夜祷 第6調 福音経：ルカ114端 24:36-53
15日(日)	函館	10:00	聖グリゴリイ・パラマの主日聖体礼儀 誦経：下田兄 使徒経：エウレイ304端 1:10-23 福音経：マルコ7端 21:1-12 ★春の総パニヒダ ■定例執事会
17日(火)	函館	16:00	晩堂大課
18日(水)	函館	10:00	時課・晩課・先備聖体礼儀
19日(木)	函館	16:00	晩堂大課
20日(金)	函館	10:00	時課・晩課・先備聖体礼儀
21日(土)	函館	17:00	主日徹夜祷 第7調 福音経：イオアン63端 20:1-10
22日(日)	函館	10:00	十字架叩拝の主日聖体礼儀 誦経：下田兄 使徒経：エウレイ311端 4:14-56 福音経：マルコ37端 8:34-9:1
24日(火)	函館	16:00	晩堂大課
25日(水)	函館	10:00	時課・晩課・先備聖体礼儀
26日(木)	函館	16:00	晩堂大課
27日(金)	函館	16:00	時課・晩課・先備聖体礼儀
28日(土)	函館	17:00	主日徹夜祷 第8調 福音経：イオアン64端 24:11-18
29日(日)	函館	10:00	階梯者イオアンの主日聖体礼儀 誦経：下田兄 使徒経：エウレイ314端 6:13-20 福音経：マルコ40端 9:17-31



編集後記



新型コロナウイルス感染が深刻です。教会でも3月から開始予定だった平日の一般聖堂公開を見合わせています。奉事は通常通り行われますが、手指の消毒、マスク着用等の推奨される感染防止策に努め、体調に留意されて無理のないようにご参拝下さい。（K）

